

取扱説明書及び部品表

Takakita

リモコンアタッチ
PD-RC2

PD-RC2		
適用機種	PD9000S	12 号機～
	PD9000WS	
	PD11000S	41 号機～
	PD11000WS	
	PD11001S	1 号機～
	PD11001WS	
	PD9002S	1 号機～
	PD9002WS	
	PD11002S	1 号機～
	PD11002WS	



本製品を安全に、また正しくお使いいただくために
必ず本取扱説明書をお読みください。
お読みになった後も大切に保管してください。

株式会社 **タカキタ**

はじめに

このたびは本製品をお買い上げいただき、ありがとうございました。

この取扱説明書は、マニアスプレッダリモコンアタッチの組付け方法及び取扱方法と、使用上の注意事項について記載してあります。ご使用前には必ず、この取扱説明書を熟知するまでお読みの上、正しくお取扱いいただき最良の状態でご使用ください。

- お読みになったあとも必ず製品に近接して保存してください。
- 製品を貸与または譲渡される場合は、この取扱説明書を製品に添付してお渡してください。
- この取扱説明書を紛失または損傷された場合は、速やかにお買い上げ販売店または当社にご注文ください。
(部品コードは裏表紙に記載してあります。)
- 本書は**注意**として知っておくと得な製品の性能や、製品自体の損傷防止に関する留意事項を書いてあります。
- なお、本製品については不断の研究成果を新しい技術として直ちに取り入れておりますので、お手元の製品と本書の内容が一致しない場合もありますので、あらかじめご了承ください。
- ご不明なことやお気付きのことがございましたら、お買い上げの販売店または当社にご相談ください。



警告サイン



印付きの下記マークは安全上、特に重要な項目ですので、必ずお守りください。



危険

その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負うことになるものを示します。



警告

その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性があるものを示します。



注意

その警告に従わなかった場合、ケガを負うおそれのあるものを示します。

目次

マニアスプレッダへの組付け要領	1
-----------------------	---

- | | |
|----------------------------|---|
| 1. オート関係部品の取り外しと取り付け | 1 |
| 2. デンゲンコードの取り付け | 3 |

操作方法	4
------------	---

- | | |
|-------------------------------|---|
| 1. 送り装置の取扱い | 4 |
| 2. オートストップ機能について | 5 |
| 3. コントロールボックスが故障した場合の処置 | 6 |

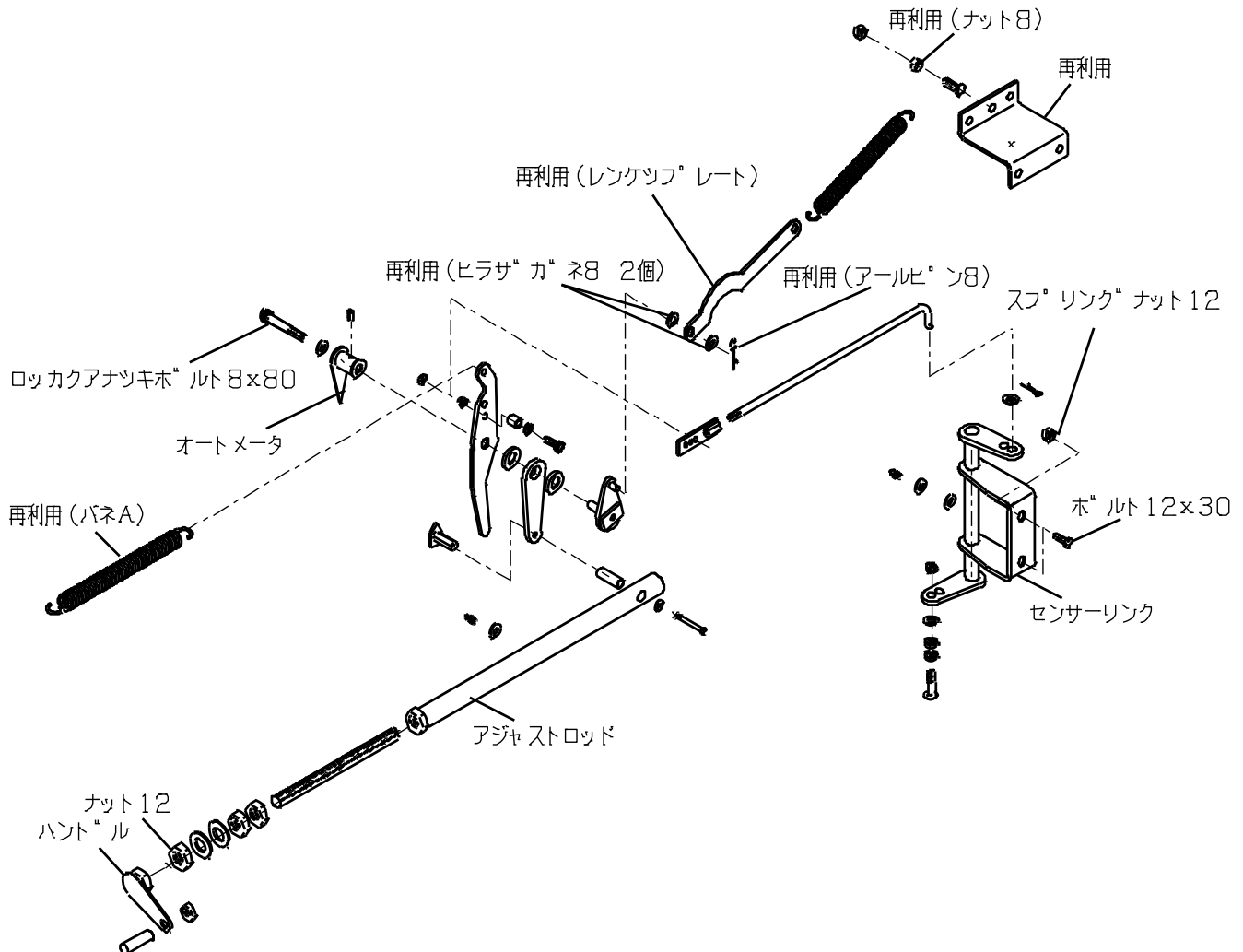
マニアスプレッダへの組付け要領

1. オート関係部品の取り外しと取り付け

◆本機に組付けてある、下記部品を取り外してください。

コントロールボックスの電源は、トラクタのバッテリーより取出します。

- ①ハンドルとナット 12 を外し、アジャストロッド関係を外してください。
 - ②ボルト 12x30 とスプリングナット 12 を外し、センサーリンク関係を外してください。
 - ③ロックアナツキボルト 8x80 を外し、オートメータ関係を外してください。
- (個々の部品は分解する必要はありません。)

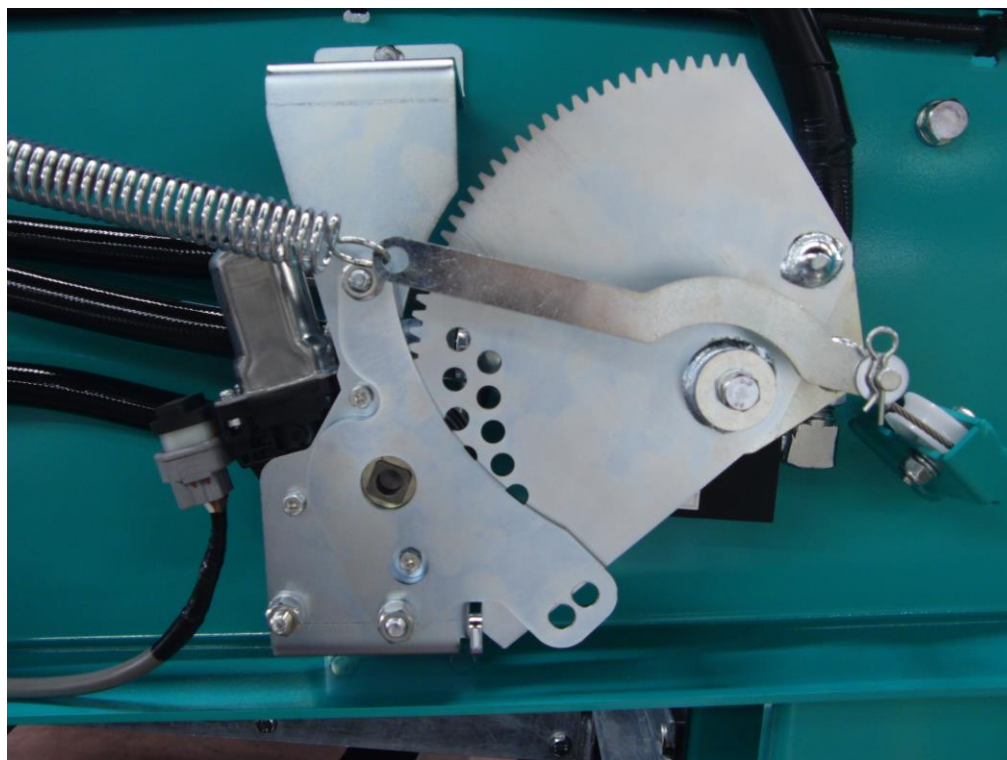
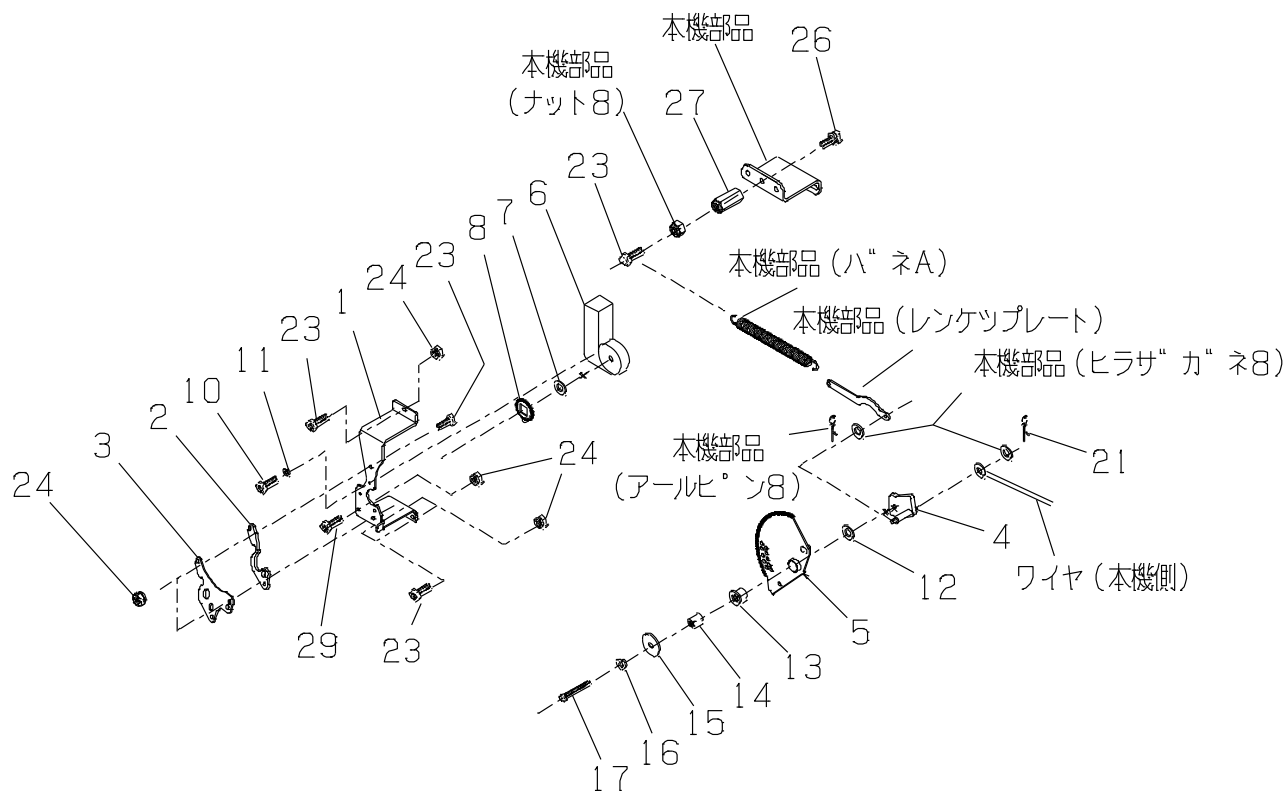


警告

部品の取り付け、取り外しを行う時は、P T Oを切り、エンジンを停止させて回転部が止まってから行ってください。

マニアスプレッダへの組付け要領

◆ 下記リモコン部品を組み付けてください。



マニアスプレッダへの組付け要領

2. デンゲンコードの取り付け

◆電源はトラクタのバッテリーから取出します

コントロールボックスの電源は、トラクタのバッテリーより取出します。

◆接続できるバッテリーの電圧は 12V です

24V のバッテリーには接続しないでください。間違えて接続すると、コントロールボックス内部の機器が破損します。

◆ (+)、(-) の接続を間違えないように

白色線はバッテリーの (+) へ接続

黒色線はバッテリーの (-) へ接続

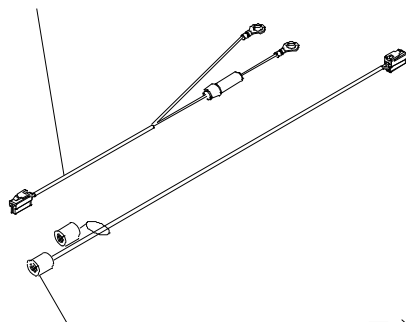
電源コードのヒューズ

30A

作動しない場合は、ヒューズを確認し、A 数の合ったヒューズを入れて下さい。

◆モーターハーネスを組付けてください

デンゲンコード



モーターハーネス

コントロールボックス



注

意

接続の順序は (+) 側から行ってください。

また、取外すときは (-) 側から行ってください。

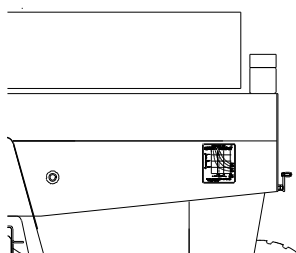
逆にすると、火花が飛び危険です。

◆コントロールボックスの取付け

コントロールボックスを、キューバンを使って、操作のしやすいようにトラクタのガラスなどに吸着させて取付けてください。

◆散布量ステッカーの貼り付け

散布量のステッカー (S 又は WS 用) をフロントパネルへ貼り付けてください。



操作方法

1. 送り装置の取扱い

◆散布量を調整するときは

コントロールボックスを操作して、希望する散布量の位置にブレードの送り速度を合わせてください。
コントロールボックスの設定



電源を「入」を押し、送り速度の「+／-」のボタンを押すと、送り速度調整ができます。[+]を押すと液晶の表示が上がって送り速度が速くなり、また[-]を押すと表示が小さくなり、送り速度が遅くなります。

注意

送り速度は10段階ですが比例的には速度は上がりません

注意

パルスモータが正常に動いていない場合は、全てのランプが点滅し、異常を知らせます。

電源 [入]又は [切] を押すと、表示（送り速度）は0に戻ります。

作業の終了時には、電源 [入/切] を押し、電源を切ってください。

トラクタの油圧流量は

35～40リットル/分に

設定してください。

設定できない場合は送り速度を変更して散布量を調整してください。

注意

堆肥の中に石や木片・氷などの異物が混入していると、ブレード速度が極端に遅くなったり、停止することがあります。
必ず積込み前に異物を取除いてください。

◆送り速度を記憶するときは

本機のコントロールボックスは送り速度を2通り、記憶する事が可能です。

①通常作業用に記憶する場合

[1]油圧は送らずに、電源[入]を押してください。

[2]「+／-」のボタンを押して、任意の送り速度を表示させてください。

[3]メモリボタンを約3秒間押しつづけると、メモリランプが点滅し、記憶終了です。

●記憶した送り速度は電源を切っても残ります。

●送り速度は何度も上書き可能です。

[4]電源[入]状態でメモリボタンを押すと、保存した送り速度に変わります。

●メモリボタンを押した後も、送り速度の「+／-」のボタンを押すと、送り速度を変える事ができます。

②クイックスタート用に記憶する場合

[1]油圧は送らずに、電源[入]を押してください。

[2]「+／-」のボタンを押して、任意の送り速度を表示させてください。

[3]クイックスタートボタンを約3秒間押しつづけると、クイックスタートランプが点滅し、記憶終了です。

●記憶した送り速度は電源を切っても残ります。

●送り速度は何度も上書き可能です。

注意

同じ送り速度でも、堆肥の種類によって堆肥の散布量は変わります。

ステッカーの散布量は目安ですので、散布の際は、実際の散布量を確認しながら、送り速度を決めてください。

操作方法

◆クイックスタート機能を使うときは

送り速度表示「0」の時のみ、(散布開始時)クイックスタートボタンを押すと、送り速度が自動的に、送り「10」で約7秒間保持され、その後、クイックスタート用に記憶した送り速度になります。

- クイックスタートボタンを押した後も、送り速度の「+/-」のボタンを押すと、送り速度を変える事ができます。

注意

クイックスタートでブレードが動く距離はトラクタの油圧流量によって変化しますが、クイックスタートの時間は固定ですので、お客様によっては、クイックスタートの時間が短い、長いが発生する場合があります。その場合は、お客様ご自身で、クイックスタート終盤に送り速度の調整をお願いします。(クイックスタート時間の調整はありません。)

◆早送り機能を使うときは

「早送り」ボタンを押している間は送り速度「10」でブレードが送られます。「早送り」ボタンを離すと、元の速度に戻ります。

注意

「早送り」は、ビータへの負荷が低い時に使用してください。

◆堆肥移動速度(送り速度「15」)を使うときは

「早送り」+「移動」ボタンを同時押しで、ブレードが送り速度「15」で送られます。(「早送り」ランプが点滅します。)
「解除」ボタンを押すと、元の速度に戻ります。

注意

送り速度「15」表示中は「解除」と「電源」ボタンのみが機能し、他のボタンは反応しません。送り速度「15」を止める場合は、「解除」ボタンで元の速度に戻るか、「電源」ボタンで送りを停止(コントロールボックスの電源切)してください。

注意

送り速度「15」はオートストップ機能が作用しません。堆肥移動(堆積作業)時のみで使用してください。

散布作業で使用すると、シアボルトが頻繁に切断したり、本機が破損する場合があります。

注意

コントロールボックスの水濡れは故障の原因となります。屋内に保管してください。

2.オートストップ機能について

◆オートストップ機能が作用したときは

本機は堆肥内に異物がある等、シアボルトが切断する等してビータが押された場合に、ブレード送りを停止させるオートストップ機能を搭載しています。

オートストップ機能が作用した時は、ビータを開け、荷箱内の異物を取り除いてから、作業を再開してください。

注意

送り速度「15」はオートストップ機能が作用しません。堆肥移動(堆積作業)時のみで使用してください。

散布作業で使用すると、シアボルトが頻繁に切断したり、本機が破損する場合があります。

警告

異物を取り除く際は、トラクタのエンジンを完全に停止させ、コントロールボックスの電源を切り、安全を確認の上、棒等を使用して異物を取り除いてください。

操作方法

3.コントロールボックス（電気系統）が故障した場合の処置

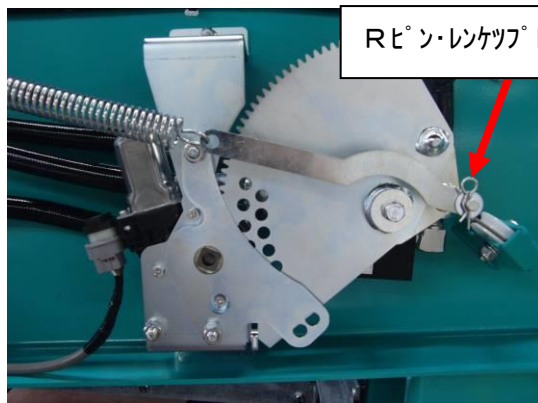
コントロールボックス（電気系統）故障した場合、下記の処置を行う事で、暫定の作業が可能になります。



警告

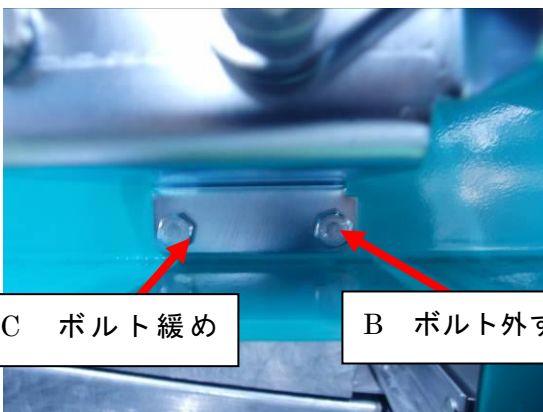
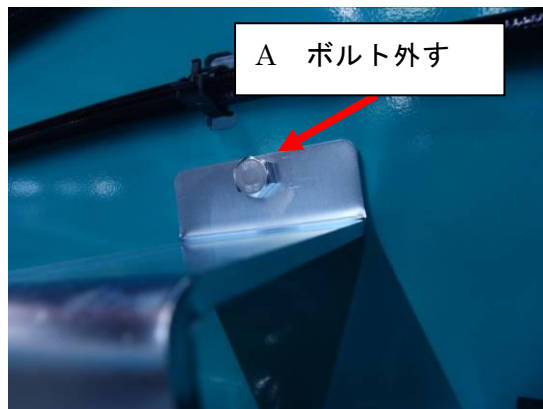
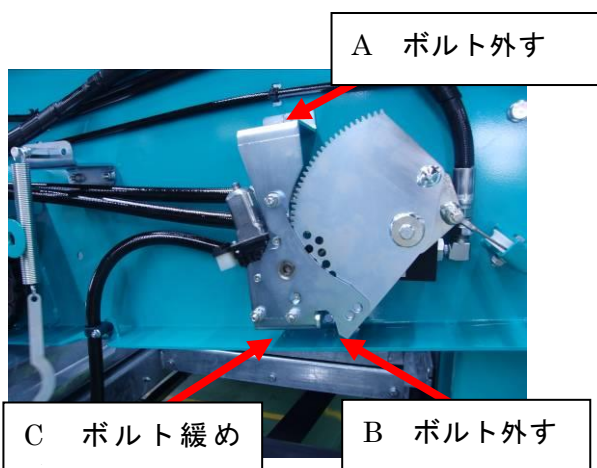
下記処置を行う時は、P T Oを切り、エンジンを停止させて回転部が止まってから行ってください。

- ①フロントパネルカバーを開き、Rピンを抜いて、レンケツプレート（バネ）を外してください。

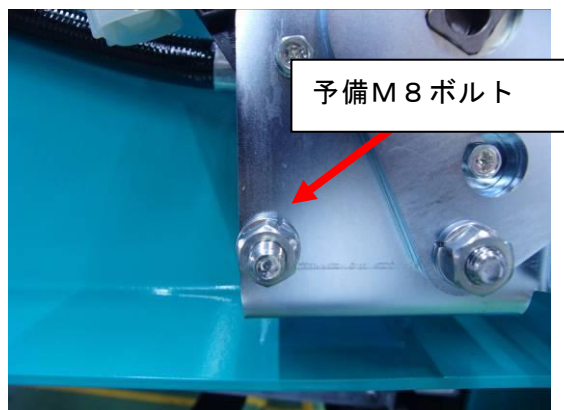


- ②モーターベースのM8ボルト2ヶ所を外し、1ヶ所を緩め、モーターごと、左へ傾けてください。（ギヤの勘合を外します。）

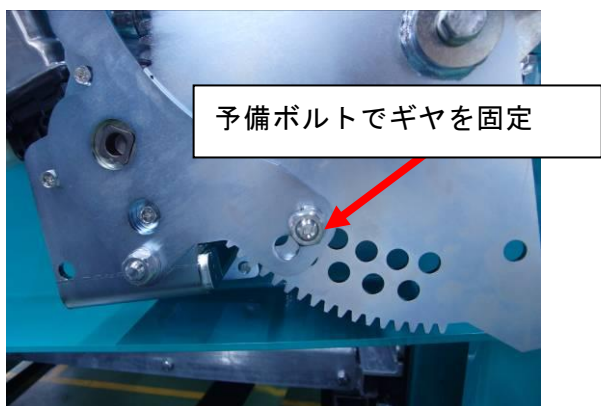
A のボルト組み付け、C のボルトを固定してください。



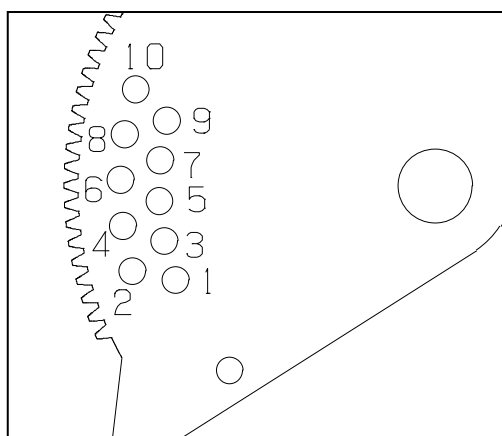
- ③予備のM8ボルトを外し、ギヤの穴位置を合わせ、予備ボルトでギヤを固定してください。



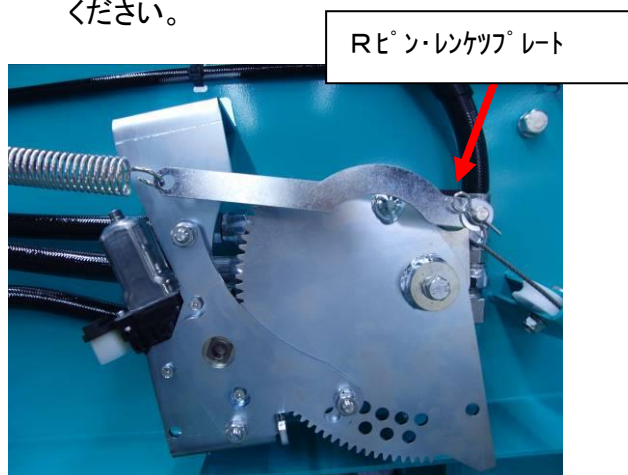
操作方法



ギヤの穴位置と送り速度の関係は下記です。
(暫定位置ですので、実際の送り速度とは
若干、差異が生じる場合があります。)



④ ①で外したレンケツプレートを組み付けて
ください。



オートストップ機能は機能します。
送り速度を変えたい場合はギヤの穴位置を
変えてください。